

平成 27 年度第 3 回沖縄県がん診療連携協議会 がん政策部会

日 時 : 平成 27 年 12 月 11 日 (金) 18:30～

場 所 : 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

構成員 : 10 名

出席者 : 6 名

埴岡 健一 (東京大学公共政策大学院医療政策教育・研究ユニット)、井岡 亜希子 (琉大病院 がんセンター)、笹良 剛史 (友愛会南病院、緩和ケア部会長)、(那覇市立病院 普及啓発副部会長)、仲本 奈々 (琉大病院がんセンター がん登録部会副部会長)、増田 昌人 (琉大病院がんセンター 相談支援部会長)

欠席者 : 4 名

天野 慎介 (一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン)、東 尚弘 (国立がん研究センターがん対策情報センター)、佐村 博範 (琉球大学医学部附属病院、地域ネットワーク部会長)、長井 裕 (琉球大学医学部附属病院、普及啓発部会長)

陪席者 : 呉屋 葉子 (琉球大学医学部附属病院)

<報告事項>

1. 平成 27 年度第 2 回がん政策部会議事要旨の確認

増田副部会長より、資料 2 に基づき、平成 27 年度第 2 回がん政策部会議事要旨について報告があった。

<審議事項>

1. 沖縄県がん対策推進計画 (第 2 次) の中間評価について

井岡委員より、平成 27 年度がん計画中間評価事業における作業進捗および沖縄県がん対策推進計画 (第 2 次) 中間評価報告書 (案) を作成したことやアンケート調査の結果が出次第、図表も完成予定であることが報告された。

中間評価報告書 (案) の注目すべきは、「IV. 沖縄県がん対策推進計画 (第 2 次) の取組状況と中間評価」で、分野別施策ごとに、①進捗状況、②さらに取り組むべき事項、③施策・指標マップをセットにしており、施策・指標マップは、A4 一枚に収めるためにアウトカムと施策内容を略し、代表指標のみを示している、全ての指標は指標リストに一括して示していること、また、「分野アウトカム・中間アウトカム・個別施策の一覧」、「患者・家族アンケート集計結果と調査票」、「医療者アンケート集計結果と調査票」は資料として掲載していることが報告された。

中間評価報告書 (案) について、委員より、以下の意見があった。

- ・ P24～25 の本文を一般人向けに記載してはどうか。
- ・ がん死亡減少率がワーストであることなど、沖縄県の問題や課題をクローズアップするようなグラフを追加してはどうか。
- ・ P25 の(2)分野別施策の個別目標_がんの早期発見について、目標値が記載されていないので、併記してはどうか。

他、構成やコメントについて意見があれば、12 月 15 日までにするよう依頼があった。

第 4 回幹事会および協議会には、報告事項としてあげることになった。

2. 沖縄県の予算編成時期を考慮した協議会における基本審議事項のスケジュール (年間カレン

ダー) について

増田委員より、沖縄県の予算編成時期を考慮した協議会における基本審議事項のスケジュール（年間カレンダー）について、前回提案したものから、がん政策部会、専門部会を省き、幹事会と協議会のみにしたことが報告された。県の再来年度の予算を踏まえると、5月の協議会には施策提案を行っていきたい。このスケジュールを、がん政策部会から、協議会・幹事会・専門部会に出してはどうかと提案があった。

各専門部会に年間カレンダーの意見および施策提案がないか確認し、第4回の幹事会および協議会には、報告事項としてあげるようになった。

3. PDCA サイクルの確保について

- (1) 都道府県拠点病院による各拠点病院等への実地調査の前のデータスクリーニング／レビュー／事前評価について
- (2) 都道府県拠点病院による各拠点病院等への実地調査について

増田委員より、がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針に、PDCA サイクルの確保が指定されていることから、まずは県内の拠点病院と診療病院、および支援病院におけるPDCA サイクルの確保についての情報共有と相互評価を行ってはどうかと提案があった。実地調査の前のデータスクリーニング／レビュー／事前評価については、現況報告書を用いて作成することや、施設訪問者、訪問時期、報告書等について提案があり、委員より、以下の意見があった。

- ・実地調査の前のデータスクリーニング／レビュー／事前評価については、現況調査だけでなく、中間評価のロジックモデル、医療者アンケート結果も反映させてはどうか。
- ・報告書の作成することがメインになっているが、本来の目的である、好事例の共有化に重点をおいてはどうか。
- ・それぞれの施設で現況報告書の書き方が異なるので、良いものに合わせたひな形を作成してはどうか。

以上の意見を受けて、がん政策部会でメール審議し、第4回幹事会および協議会には、審議事項としてあげるようになった。

4. 専門部会の再編成について

増田副部長より、今ある専門部会を、沖縄県がん計画の中間評価の分野分けに準じて、再編してはどうかと提案があり、委員およびがんセンター事務より以下の意見があった。

- ・沖縄県がん計画に沿った部会の編成は、がん診療連携協議会であることなのか。
- ・沖縄県がん対策推進協議会に専門部会を設置してはどうか。
- ・沖縄県がん計画のロジックモデルと目指すべきゴールが明確になったので、どの協議会が受けるではなくて、沖縄にいる人材が担い、優先順位をつけて邁進してはどうか。
- ・県計画でアクションプランを描くのであれば、県の職員を部会に入れるのは必須で、同じような部会を設置するのであれば、今ある専門部会の委員に兼務してはどうか。

以上の意見を受けて、具体的な部会編成案とはならないため、継続審議することとし、県には、沖縄県がん対策推進協議会の積極的な開催や部会の設置を提案することになった。

5. 次回の開催について

次回のがん政策部会は3月に開催することになった。